

部内教会地鎮祭起工式祝詞

此の所に忌竹さし立て標縄引き延之神籠立て、招ぎ奉り令せ奉る掛巻くも畏き親神天理王命の御前に恐み〳〵も白さく

親神の広き厚き御恵を嬉しび奉り辱けなみ奉りて天理教〇〇分教会はも既設の境内建物は平屋であり狭く且つ老朽化せし為茲に神名を高く顕揚せむものと地下に駐車場を設け木造亜鉛メッキ鋼板葺貳階建床面積一階八十二平方米二階八十八平方米なる神殿兼教職舎をおぢばに正対して新築するお許しを一月二十六日に戴き引き続き三月日親神様教祖のお目標様並びに祖霊様を上級教会に敬々しく遷座申し上げたり愈々〇〇設計の詳細なる設計及び申請を経て△△建築の施工のもとに設け奉らむと改めて今し大地の高き低きを曳きならし御柱が根を石根に築き固めむとして今日の生日の足日に地鎮祭と共に起工の御式仕え奉らむとし御酒御食海川山野の種々の味物を捧げ奉りて拝がみ奉らくを平けく安らくけく諾い聞し食して工事に親しむ人々の身に怪我過ちなく美わしく竣工しめ給いこれの教会の内容が形のふしんにふさわしく一段と充実し地域社会に陽気ぐらしの輪が拡がり思召し下さるたすけ一条の実が更に大きく見ゆるよう千代万代に堅磐に常磐に守り幸え給えと恐み〳〵も乞い祈み奉らくと白す